

横浜ユーラシア文化館 開館10周年特別展

コスモポリス
「遣唐使は見た！－憧れの国際都市 長安－」

日本文化の源流ともいえる中国唐代の文物や制度をわが国にもたらした遣唐使。彼らエリートたちが命がけで何を目指し、何を見聞し、何を請来したのか、その実態に迫る特別展です。

唐の文化は、シルクロードなどを通じてもたらされた西域の要素やインド仏教美術の荘厳を盛んに取り入れ、国際性に富む東アジアの理想美を生み出しました。

本展では、ササン朝ペルシアや唐の美術工芸品を通して、遣唐使たちが体感した都長安の国際性を具体的に示し、また、日本へ伝来した美術工芸品や文献、日本で出土した考古資料などを丁寧に検証して、遣唐使たちが運んだ様々なカタチを明らかにします。さらに、日記や和歌、漢詩などの文献を通して人間味あふれる遣唐使の実体験を読み取り、彼らの心の声に耳を傾けます。



金銅八曲長杯 唐時代 個人蔵

【開催期間】

平成25年11月1日（金）～平成26年1月13日（月・祝日）

休館日：月曜日（11月4日、12月23日、1月13日は開館、翌火曜日振替休館）、および12/28～1/3

開館時間：9時30分～17時（入館は16時30分まで）

会場：横浜ユーラシア文化館 3階企画展示室、2階常設展示室

【主催】

横浜ユーラシア文化館

【共催】

横浜市歴史博物館 横浜市教育委員会

【主な展示内容と見どころ】

1. 遣唐使とは ー出自・構成・役割・待遇・遣唐使船ー

記録（文書）、和歌（遣唐使を送る歌等）、難波津の重要性・国際性（外来土器・祭祀用製品）

2. 海を渡ったエリートたち ー航路・中国での行動ー

記録（文書・日記）、和歌（派遣先で詠んだ歌）・遣唐使船とコース（絵巻複製・遣唐使船写真）

3. 遣唐使が見たモノ ー諸国を惹きつける大帝国・唐の国際性ー

- ・ペルシア・西域の影響：金属器・ガラス器・陶器・貨幣・俑・染織・楽器（敦煌復元）、壁画（複製）に見る西域の服装・舞踊・スポーツ・楽器・ガラス器の流行
- ・インドの影響：仏教美術浮彫・葡萄唐草文、絵画、正倉院宝物（五絃琵琶などパネル）
- ・ソグド人の活躍（画像パネル）



三彩女子騎馬俑 唐時代 馬の博物館蔵



琵琶(敦煌復元楽器) 伊丹アイフォニックホール蔵

4. 遣唐使が運んだカタチ ー日本への影響と発展ー

* 文物だけではなく、請来された技術・知識、および形成されていく様々な様子も含み「カタチ」と称する

- ・出土品：陶器、仏像、ガラス製品・鋳型、銀銭・銅銭
- ・伝来品：正倉院宝物（画像）、唐代工芸品、天平工芸品、仏教美術、音楽（復元楽器、敦煌壁画パネル）、技術伝習を物語る記録類（琵琶譜など）
- ・来日した外国人：続日本紀の記録 唐人（皇甫東朝）・ペルシア人（李密翳）・インド人僧侶

5. 遣唐使は語る ー人としての遣唐使ー

（日記 和歌 漢詩、絵巻）インタビュー形式

6. シルクロードの仏教美術

- ・仏教美術の隆盛：唐～西域の仏教美術 金銅仏、キジル壁画



毘沙門天 中央アジア 8世紀 個人像

お問い合わせ先

横浜ユーラシア文化館 担当 神谷量子（広報）、福原庸子（展示） Tel 045-663-2424